

顧客創出企画をプレゼン



優勝チームには地元FM番組がプレゼントされた。写真中央は都筑社長

愛知、岐阜を中心に「ZENT」の屋号でホールを展開する善都(愛知県豊田市)は2月21日、名古屋市のTHE KAWABUNで、学生インターン5チーム23人によるプレゼンテーション大会を開催した。

善都が学生のインターンシップを開催するのは今年が3年目。約120人の応募者から選考された23人が2月15日からの5日間のインターンシッププログラムに参加。この日が5日間の日程の最終日。

同社のインターンシップは、学生が5つのグループに分かれ、「遊びの未来を考えよう」をテーマに、業界の現状を踏まえて若年層の顧客創出のための企画を考えるというもの。優勝チームには地元ラジオ局「@FM」の番組「Radio Freaks」(番組ナビゲーター・マルコ石本氏)への出演権がプレゼントされる。

学生たちは各種の統計データを調べ、遊技業界が抱える「若年層の遊技離れ」という現状を分析したうえで、遊技のきっかけを創出するプランを企画。企画内容をわかりやすく伝えるプレゼンテーションを練り上げた。

同社の都筑善雄社長、竹田昌仁専務ほか社外の有識者4人の審査員の採点により最高点を獲得して優勝したのは、「パチ



学生たちは調べたデータをもとに若年層に訴求する施策を提案した

ンコをすれば社会貢献になる、世界を救おう」というチャリティーに連動する企画を提案したチーム。同世代の学生の8割以上が社会貢献に関心を示しているというデータをもとに、遊びながら社会貢献になる仕組みで若年層の新規参加が期待できるとした。

この他にも、小学校高学年以上を対象とした、大人の娯楽を疑似体験できる子供向けテーマパーク、同窓会・二次会の幹事代行サービスとのコラボレーション、遊技や来店を健康管理と結びつける企画、高齢者の終活を孫への「趣味の伝承」の契機にする企画などがあり、「その発想はなかった」「刺激になった」と審査員を唸らせた。

善都の都筑社長は、「固定概念にとらわれない皆さんの発表から多くの『気持ち』をいただき、沢山の刺激を受けました。今回のインターンシップでの出逢いを大切にすると共に、ここで得た『喜び』や『絆』を糧に、今後の就職活動社会人生活に役立ててください」とこれから就活を始める学生たちにエールを送った。

㊦